

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【公開番号】特開 2001-282126 (P2001-282126A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 12 日 (2001.10.12)
 【出願番号】特願 2000-97873 (P2000-97873)
 【国際特許分類 第 7 版】

G 0 9 F 9/00
 G 0 2 F 1/13
 G 0 2 F 1/1333

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z
 G 0 9 F 9/00 3 4 2 Z
 G 0 2 F 1/13 1 0 1
 G 0 2 F 1/1333 5 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

貼り合わせるべき下基板を保持するテーブルと、上基板を保持する加圧板とを備え、該テーブル及び該加圧板にそれぞれ基板を保持して対向させ、位置決めを行うと共に間隔を狭めて、いずれかの基板に設けた接着剤により真空中で両基板同土を貼り合わせる基板組立装置において、

下基板を着脱自在に保持する前記テーブルが真空チャンバ内に配置され、該真空チャンバ外に配置した複数のアクチュエータの各々から前記テーブルの側面部に X Y の各方向に伸びたアームが設けられ、該各アームにより前記テーブルを X Y 方向に移動力を作用させることができ、それぞれのアームの伸長方向に対して交差する方向にはスライド機構を備えていることを特徴とする基板組立装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記スライド機構が、前記テーブルの側面部には T 字状レールが設けられ、前記アームの端部にはローラが前記テーブルと前記 T 字状レールとの間に位置するよう配置した構成であることを特徴とする基板組立装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 において、
前記真空チャンバは上チャンバと下チャンバとで構成され、前記上チャンバに前記加圧板が、下チャンバに前記テーブルがそれぞれ内蔵され、前記加圧板には上基板を保持するための真空吸着手段と静電吸着手段とを備えていることを特徴とする基板組立装置。